

# 新型コロナウイルス感染症 パンデミックにおける

# 『あいまいな喪失』と

# レジリエンス

## 福島医学会学術研究集会シンポジウム

オンライン開催  
参加無料

不明瞭なまま継続し、解決や終結がみえない喪失を、「あいまいな喪失」といいます。東日本大震災の後、福島では原発事故によって故郷の町が大きく変わり、多くの人々が「あいまいな喪失」を経験しました。それから10年、今、新型コロナウイルスが世界中で「あいまいな喪失」を引き起こしています。混沌とした多くの喪失感をかかえる中、私たちは希望をどこに見出すのか、あいまいな喪失理論の提唱者であるポーリン・ボス博士と、日本を代表するノンフィクション作家・柳田邦男氏を迎え、その糸口を探ります。

2022 **3/12** 土 13時～16時

定員 **500名**  
(どなたでもご参加できます)

1  
特別講演

「パンデミックにおけるあいまいな喪失とレジリエンス」  
ミネソタ大学名誉教授 ポーリン・ボス

インタビュー講演  
録画・通訳付き

2  
特別講演

「『さよなら』なき別れ ～問題の深さと問われる死生観～」  
ノンフィクション作家 柳田邦男

お申込み方法

福島県立医科大学災害こころの医学講座のホームページ、または「あいまいな喪失情報サイト」の本研修会のページ（下記URL）にある申し込みフォームからお申込み下さい。

研修会URL  
<https://www.d-kokoro.com/>  
<https://al.jdgs.jp/information03/>



お申込みフォーム  
QRコード

お問合せ先

福島県立医科大学 災害こころの医学講座  
TEL 024-547-1887  
E-mail d-kokoro@fmu.ac.jp  
主催：福島医学会  
共催：一般社団法人日本家族療法学会  
JDGS (Japan Disaster Grief Support) プロジェクト

市民公開  
シンポジウム

文部科学省補助金事業（平成30年度選定）「課題解決型高度医療人材養成プログラム」  
東北大学・福島県立医科大学「コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム」共催